



【マンダリンリゾート(愛知県常滑市)】

1. 2022年7月期3Q決算概要
2. 2022年7月期業績計画
3. 新型コロナウイルス感染症の影響と対策
4. トピックス
5. 株主還元

1. 2022年7月期3Q決算概要

創業からの売上高推移

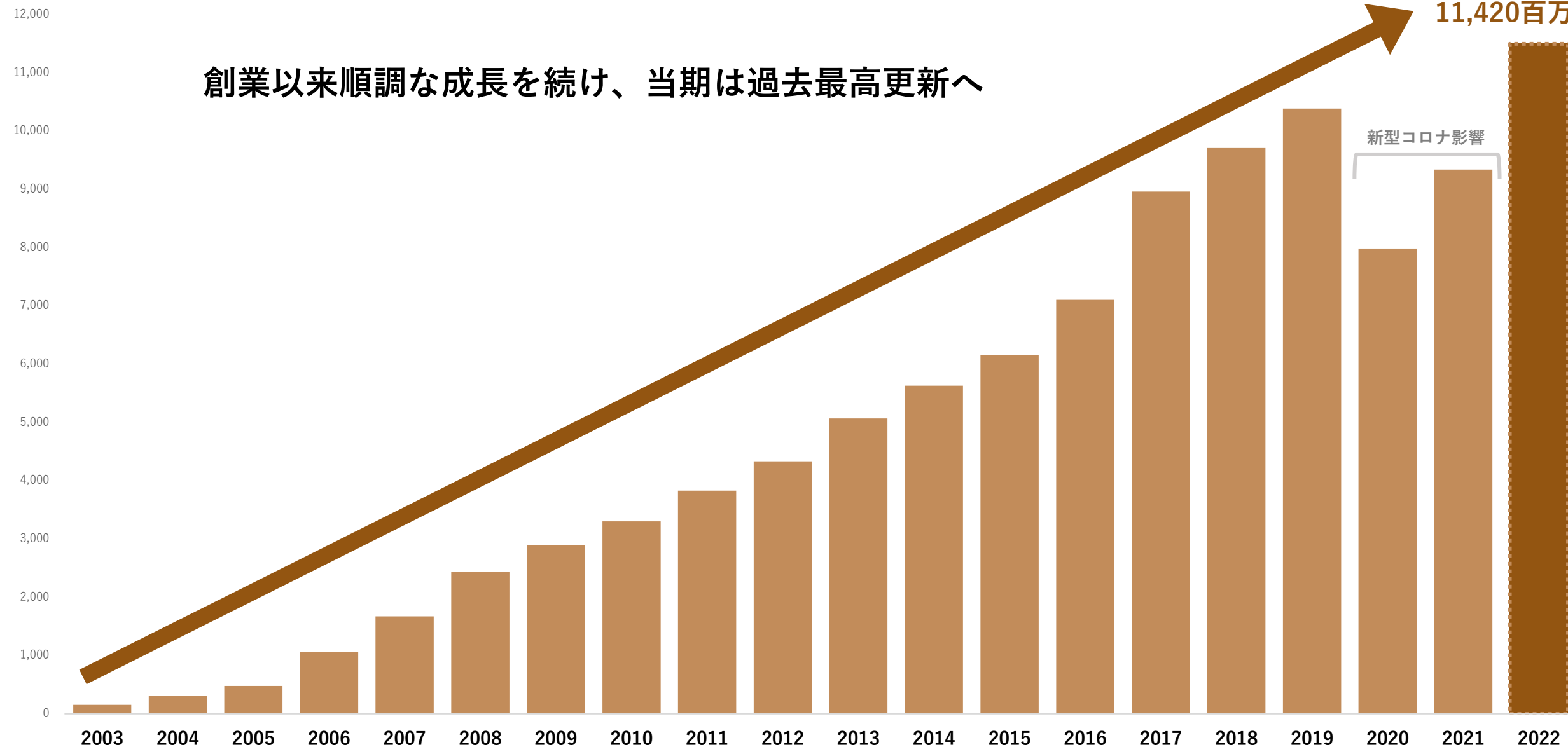
BRASS

(単位：百万円)

当期計画
11,420百万円

創業以来順調な成長を続け、当期は過去最高更新へ

新型コロナ影響

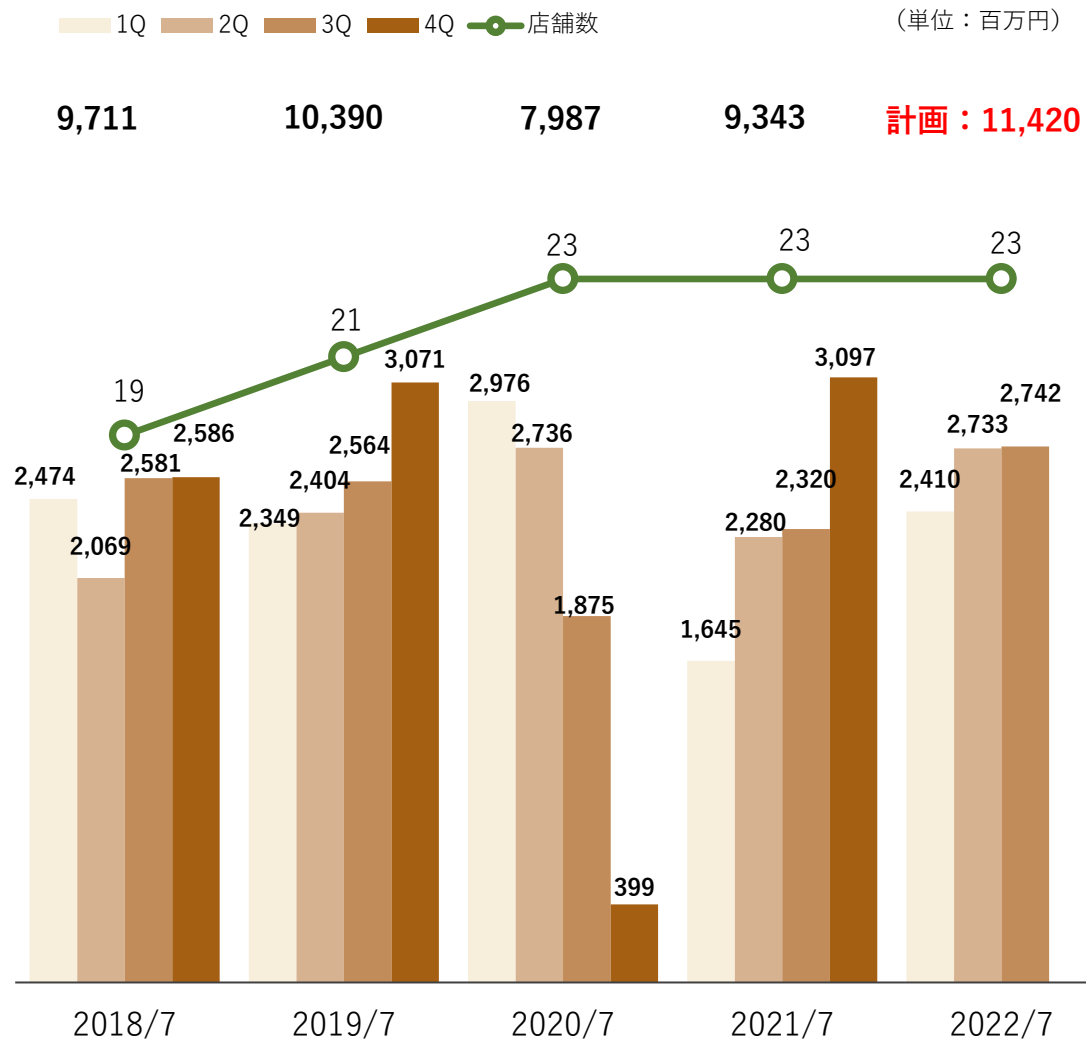


- 売上高はまん防の実施による施行延期が発生、4Qに売上計上ずれ込む
- 営業外収益は新型コロナに係る協力金226百万円を計上

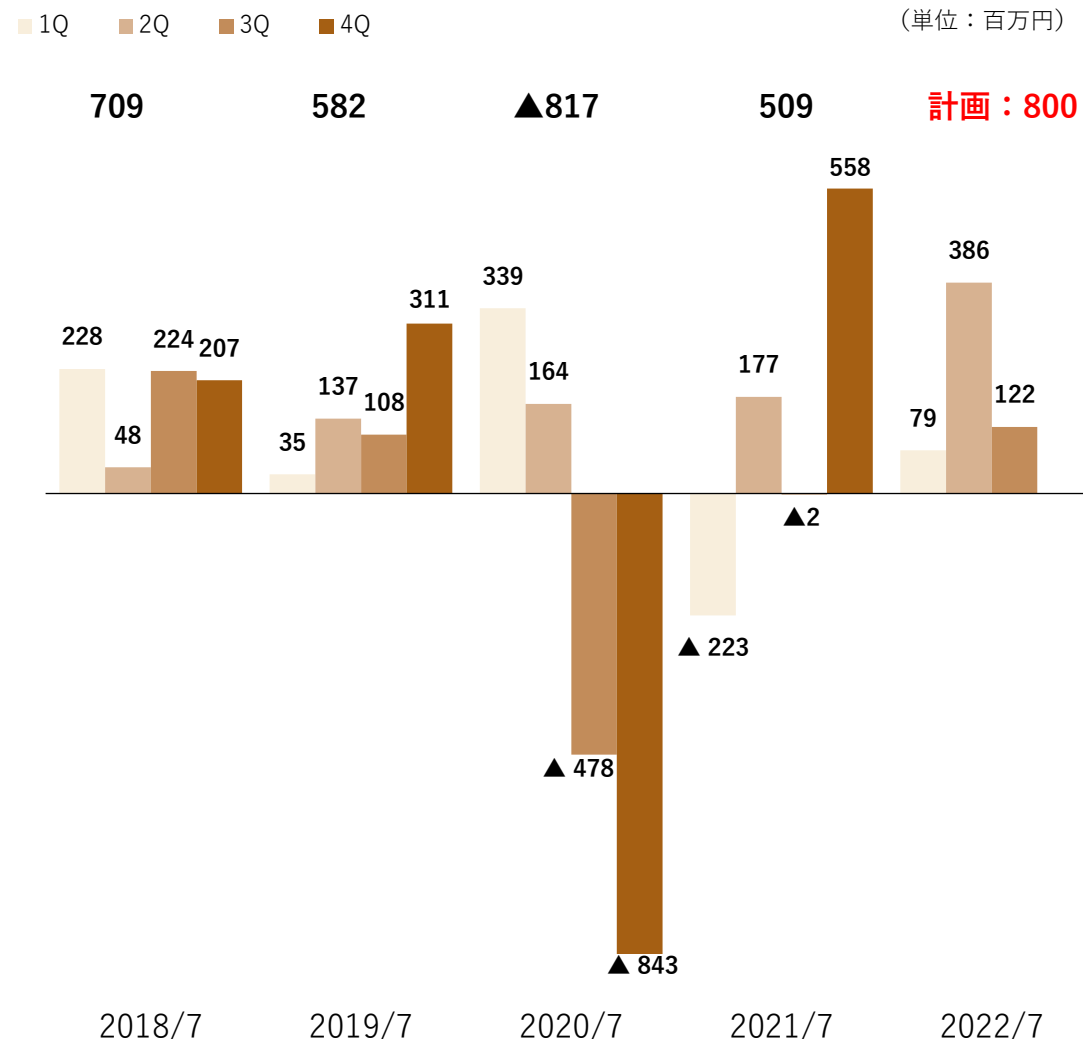
(単位：百万円)	2021/7期 3Q実績	2022/7期 3Q実績	2022/7期 通期計画	通期計画 進捗率
売上高	6,246	7,886	11,420	69.1%
売上総利益	4,063	5,264	7,462	70.5%
販管費	4,266	4,923	6,762	72.8%
営業利益	▲203	341	700	48.7%
経常利益	▲49	588	800	73.5%
四半期利益	▲59	358	515	69.7%

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準29号 2020年3月31日）等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、2022年7月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

売上高及び店舗数



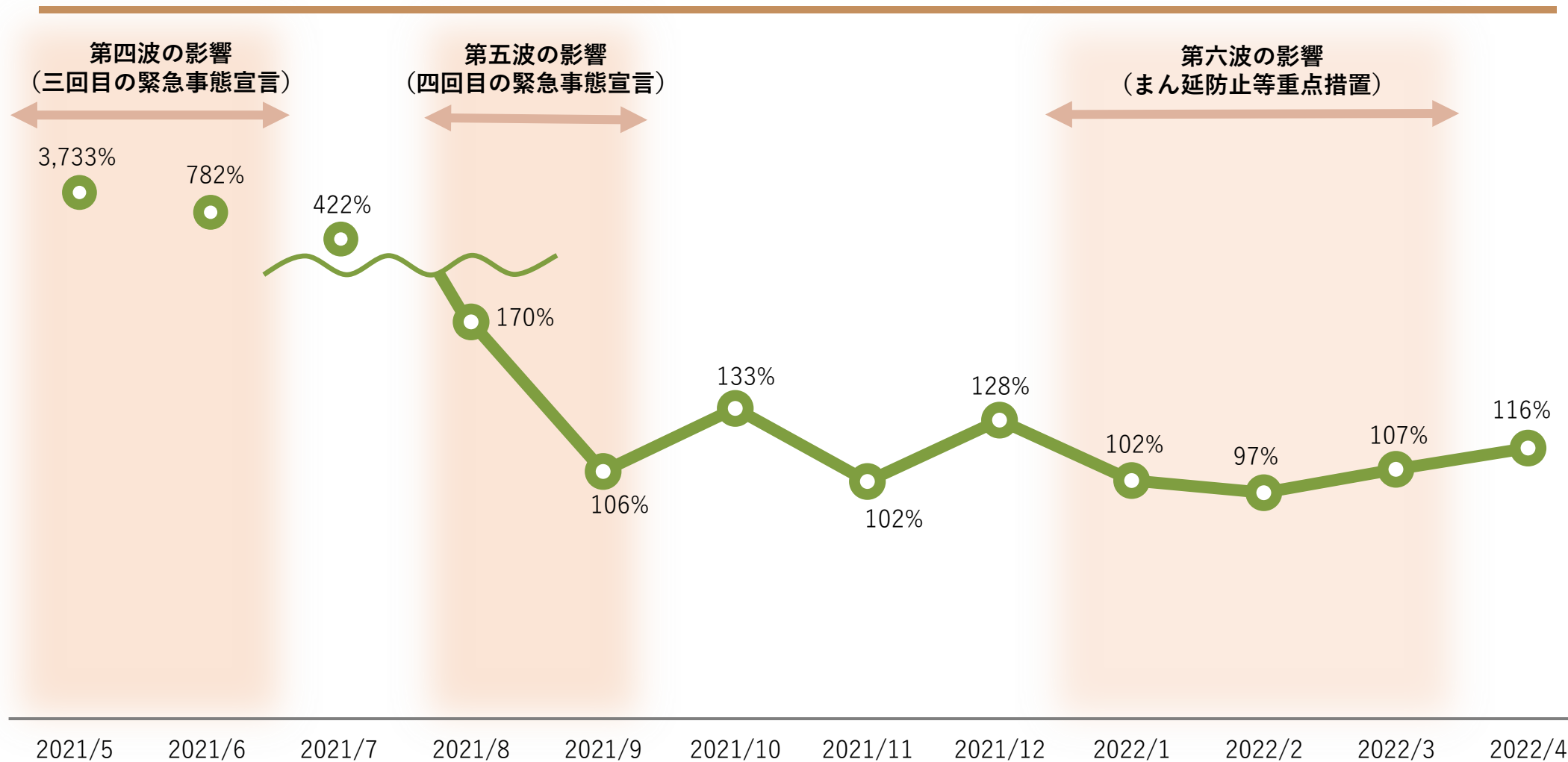
経常利益



■ 件数・単価ともに前年を上回りコロナ前の水準に近づく

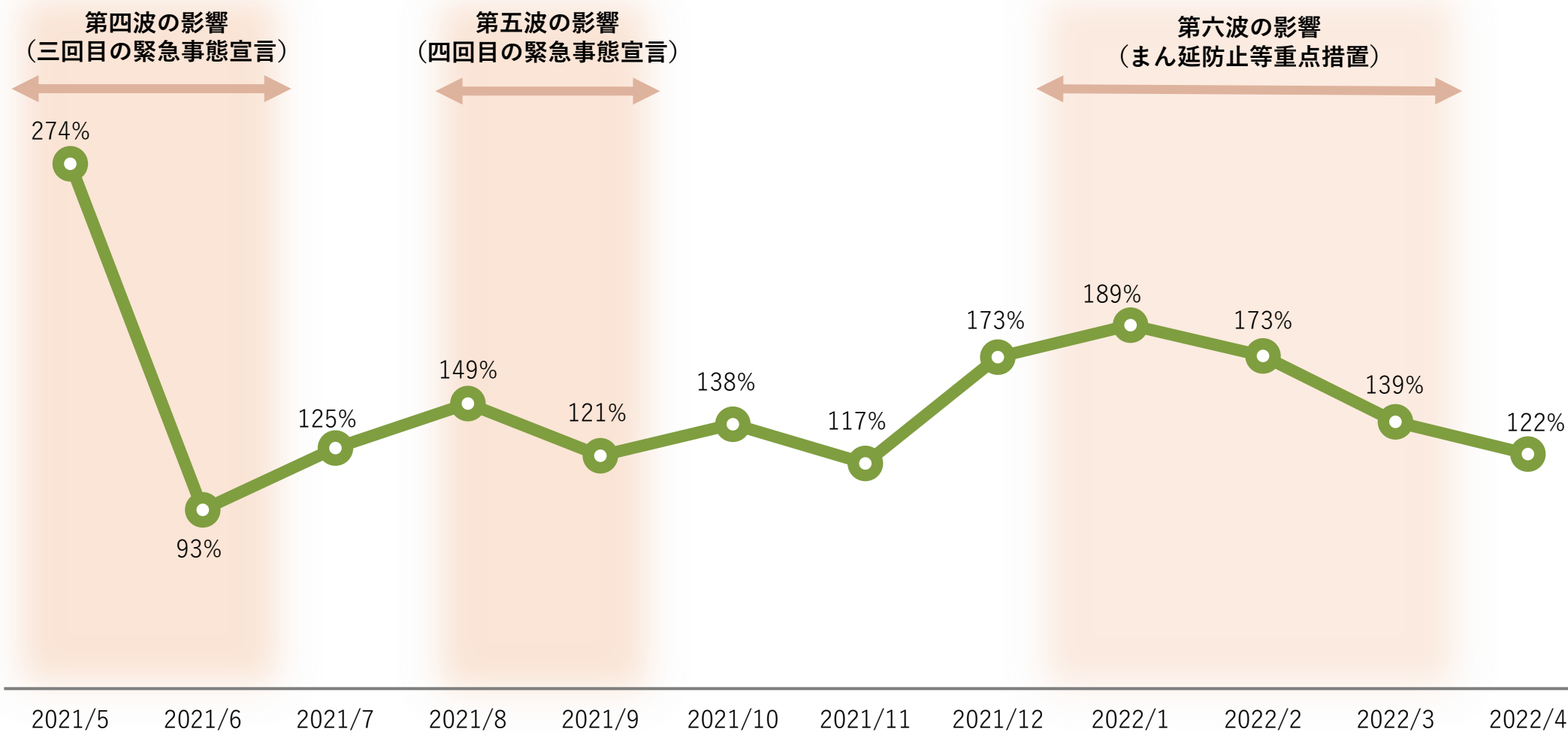
	2021/7期 3Q実績	2022/7期 3Q実績	増減	前期比
施行件数（件）	1,731	1,998	267	115.4%
受注件数（件）	1,713	2,295	582	134.0%
平均単価（千円）	3,463	3,796	333	109.6%

3Qはまん防実施により施行延期が発生、4Qへ日程移動



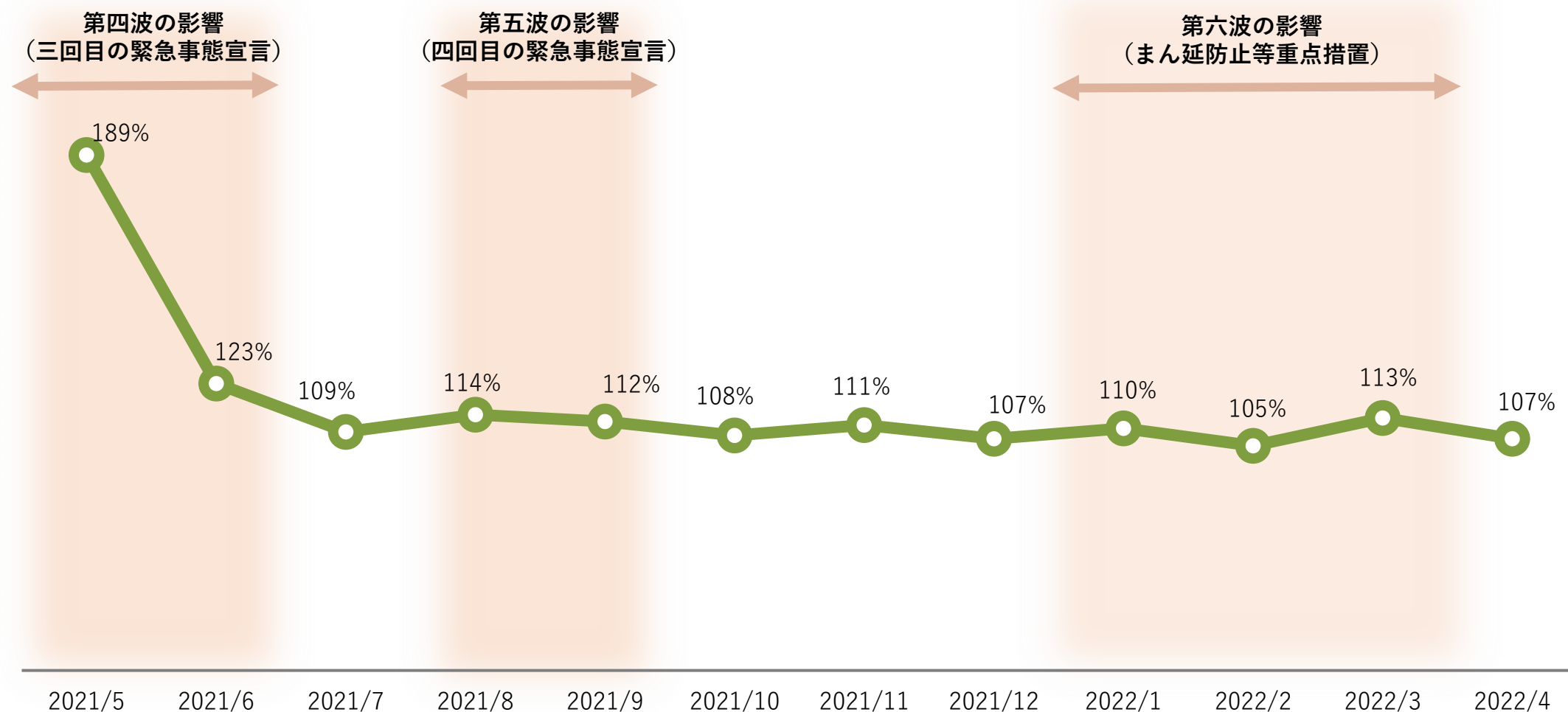
※2022年4月末時点

新規来館数は概ねコロナ前まで回復、来期施行分好調に積み上がる



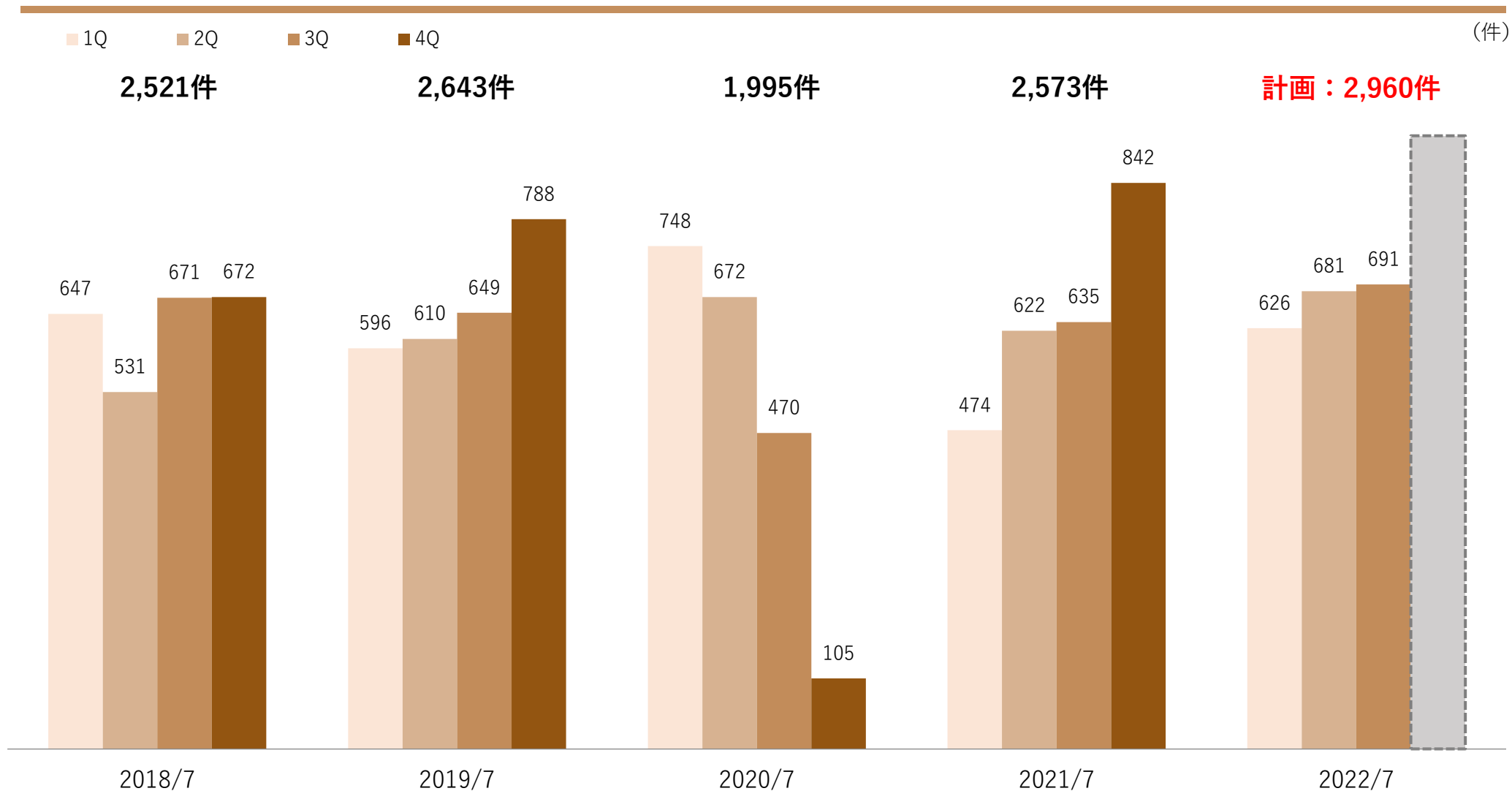
※2022年4月末時点

3Q単体における平均単価は3,823千円まで上昇



※2022年4月末時点

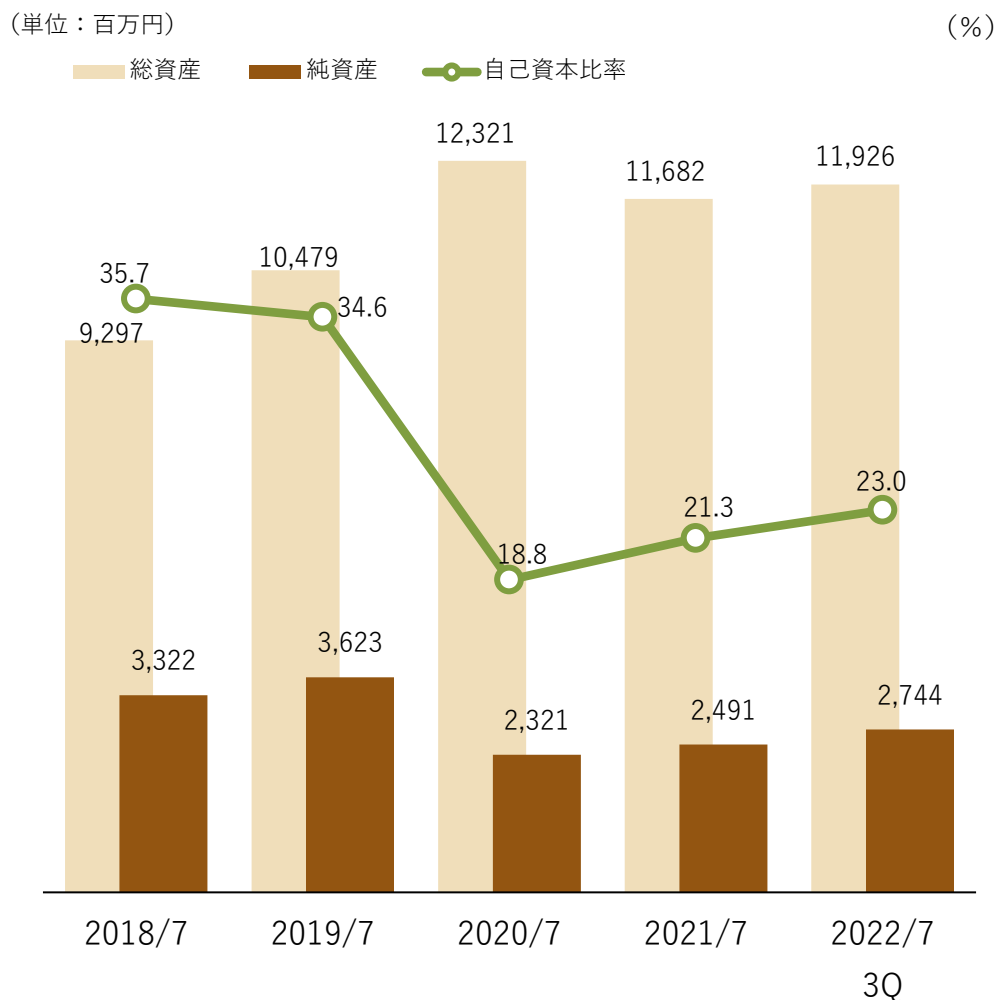
当期は過去最高の施行件数実施の見通し



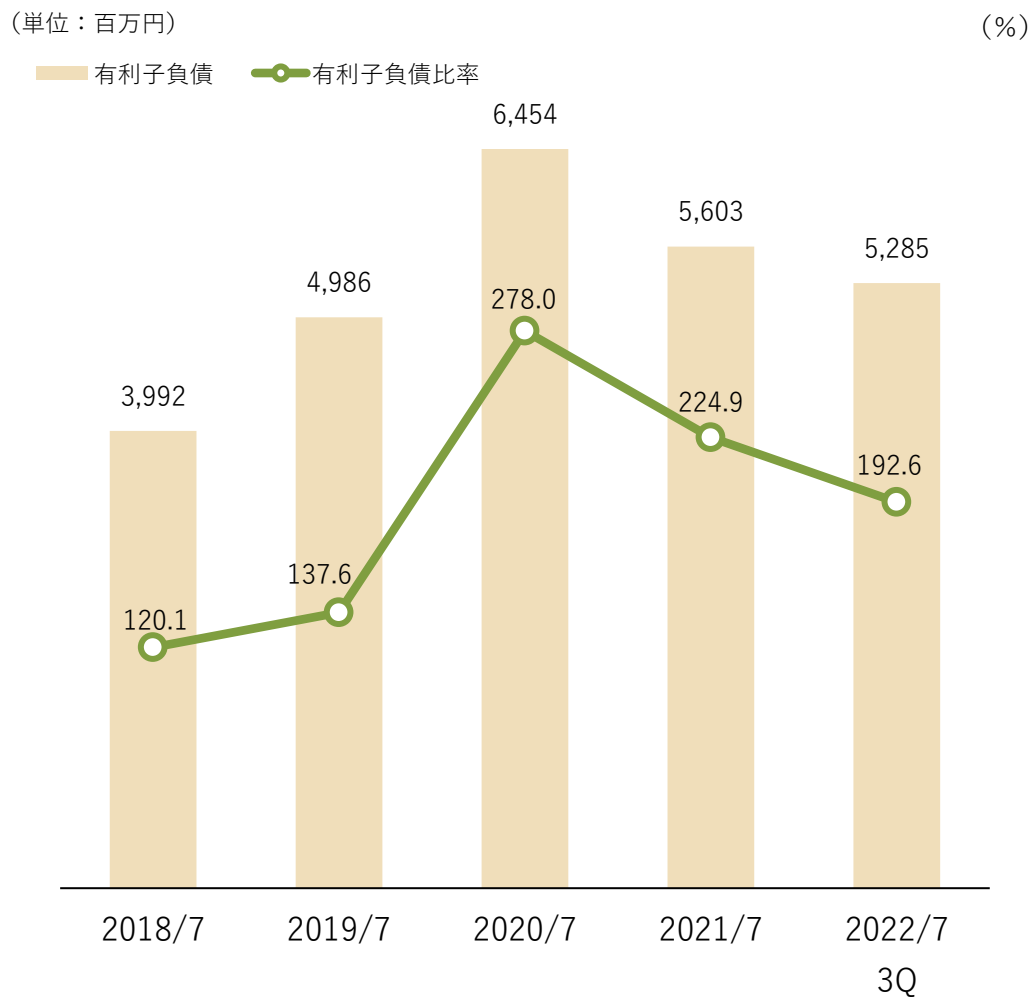
(単位：百万円)	2021/7月末	2022/4月末	増減	増減要因
資産合計	11,682	11,926	243	
流動資産	2,717	3,013	295	
当座資産	2,423	2,462	38	
その他流動資産	294	551	256	主に新収益認識基準適用による増加
固定資産	8,964	8,912	▲51	
有形固定資産	7,729	7,589	▲139	主に減価償却による減少
無形固定資産	71	61	▲10	
その他の資産	1,164	1,262	98	主に繰延税金資産の増加
負債合計	9,190	9,181	▲9	
流動負債	4,081	4,391	310	主に前受金の増加
固定負債	5,109	4,789	▲320	主に長期借入金の減少
純資産合計	2,491	2,744	253	主に繰越利益剰余金の増加
負債純資産合計	11,682	11,926	243	
自己資本比率	21.3%	23.0%	—	
1株当たり純資産	441.01円	490.51円	—	

■ 自己資本比率は改善、コロナ融資は計画通り返済し有利子負債は減少

総資産・純資産・自己資本比率の推移



有利子負債・有利子負債比率の推移



2. 2022年7月期業績計画

(単位：百万円)	2021/7期実績	構成比	2022/7期計画	構成比	前期実績比
売上高	9,343	100.0%	11,420	100.0%	122.2%
売上総利益	6,113	65.4%	7,462	65.3%	122.1%
販管費及び一般管理費	5,785	61.9%	6,762	59.2%	116.9%
営業利益	327	3.5%	700	6.1%	213.7%
経常利益	509	5.5%	800	7.0%	157.1%
当期純利益	169	1.8%	515	4.5%	303.7%
1株当たり当期利益	30.02円	—	91.18円	—	—
	2021/7期実績		2022/7期計画		前期実績比
施行組数 (件)	2,573		2,960		115.0%
平均単価 (千円)	3,507		3,785		107.9%

1 年間1～2店舗の新規出店

新型コロナの影響により収益改善と財務基盤の安定化を最優先事項としているが、今後も買収案件等を積極的に調査・検討、継続的な新規出店で事業成長を図る。

2 既存店への成長投資を実施

コロナ禍における既存店の再成長の実現と高収益体制構築に向け、既存店への戦略投資を実施し、店舗平均売上高の増加を目指す。

3 ドレス事業、写真・映像商品の展開強化

当社独自のドレスの選定とオリジナルドレスの提供で、顧客満足度を向上させるとともに、主要商品の一つである映像制作等の一部を内製化し、より付加価値の高い商品の企画・開発を行い、挙式披露宴単価増を図る。

3. 新型コロナウイルス感染症の影響と対策

影響と対応

2022年7月期
業績への影響

3Qでまん延防止等重点措置による施行延期の影響が
でたものの、延期分の多くは当期内に移動。

受注活動

3Qの新規来館数及び受注件数においてはコロナ影響を
追い風として大幅に増加。足元も好調維持。

資金の確保

十分な手元資金は確保済。

設備投資

持続的成長を実現するため、早期の新規出店を検討。
ドレス事業についても当期の新店開業で店舗拡大を推進。

笑いと涙であふれる1日を安心して迎えていただけるように、ブラスではこれらの基本的な取り組みを中心に、みなさまが安心できる感染対策に取り組んでおります



1. 消毒液の設置

館内各所・化粧室内にアルコール消毒液を設置しています。手指消毒のご協力をお願いします。



2. 館内消毒

ドアノブ・テーブル・椅子や化粧室・エレベーターなどの共有部は、定期的にアルコール消毒を実施しています。



3. 換気の実施

館内は、空調設備や扉・窓の開放による換気を定期的実施しています。



4. 従業員の健康管理

全従業員は出勤時に体温測定を行い、発熱の症状がある際は出勤停止としています。



5. 手洗い・うがい・消毒の徹底

全従業員に正しい咳エチケットの確認をはじめ、手洗い・うがい・アルコール消毒を徹底しています。



6. 従業員のマスク着用

お客さまの安全及び公衆衛生を考慮し、従業員は原則マスクを着用します。



7. 食品の衛生管理

食品の衛生管理を徹底。また、食材に触れる従業員は、マスクと使い捨てのゴム手袋を着用しています。

NEW NORMAL for
Smile and Tears

4. トピックス

静岡県静岡市に新たなドレスショップを開業

衣裳店として5店舗目となる当出店は、結婚式場をドミナント展開している静岡エリアに出店。パリの街からインスパイアされたこだわりの店内、ビードレッセのコンセプトである「LIKE A MOVIE ENJOY THE GIRL～少女から大人になる時間～」を表現する、幻想的な空間が完成しました。今後は衣裳における内製化率を引き上げ、当社結婚式の付加価値向上とともに顧客満足度向上に繋がります。

施設名	：ビードレッセ静岡	所在地	：静岡県静岡市駿河区曲金6丁目10-14
最寄駅	：東静岡駅	開業日	：2022年5月1日



2022年4月4日に東証一部市場から 東証プライム市場へ移行いたしました

当社は、東証プライム市場の上場維持基準の充足をひとつの通過点として、企業価値向上の実現を目指し、「それぞれの新郎新婦にとって最高の結婚式を創る」という経営理念のもと、それぞれの新郎新婦に寄り添った最高の結婚式を追求し、世の中に「結婚式」の価値を認識していただけるよう事業活動をおこなってまいります。引き続き株主の皆様をはじめとする関係各位のご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



5. 株主還元

当社は、株主への利益還元を重要な経営目標の一つとして認識したうえで、財務状態・業績・事業計画等を勘案し、株主への利益還元を実施していくことを基本方針としております。

期末配当予想については、今後の財政状況等を慎重に見極めた上で検討する必要があることから、引き続き未定とさせていただきます、算出が可能となった時点で公表する予定です。

	中間	期末	年間合計	配当性向
2020年7月期（実績）	0円	0円	0円	—
2021年7月期（実績）	0円	0円	0円	—
2022年7月期（予想）	0円	未定	未定	—

1. 優待制度の目的

株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、当社株式を中長期的に保有していただける株主様の増加を図ることを目的として、株主優待を実施しております。

2. 株主優待制度の内容と対象

株式保有数	継続保有期間条件	優待内容
100株以上 200株未満	半年以上※	■全国の当社店舗でご利用いただける 披露宴割引券10万円分
200株以上		■全国の当社店舗でご利用いただける 披露宴割引券10万円分 ■当社オリジナルクオカード1,000円分

※ 継続保有期間条件半年以上とは、中間期株主名簿及び期末株主名簿に同一株主番号で連続して記載または記録され、かつ、規定株式数以上の当社株式を保有していることをいう。



経営環境及び市場環境の変化に対応した機動的な資本政策の
遂行を可能とするため、自己株式の取得を実施

自己株式を新たに取得

- ・取得する株式総数 : 300,000 株 (上限)
(発行済株式総数に対する割合 : 5.3%)
- ・取得価格の総額 : 200,000,000 円 (上限)
- ・取得期間 : 2022年3月16日～2022年7月22日

(ご参考) 2022年5月31日時点の自己株式の保有状況

- ・発行済株式総数 : 5,709,300 株
- ・自己株式数 : 159,539 株

ご留意事項及びお問い合わせ先

- 本資料につきましては、投資家の皆様への情報提供のみを目的とし、あくまでも当社のご理解を促進して頂くために作成したものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。
- 本資料に記載した内容等は、資料作成時における当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証または約束するものではありません。また、予測等についても、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、今後予告無しに変更されることがあります。情報の正確性等について保証するものではありません。
- 実際の業績は、当社の事業領域を取り巻く経済状況・関連市場や競合状況・価格競争の動向、国内外の法規制、災害・事故・株価等、多分に今後様々な要因によって上記予想・見込みとは異なるものとなる可能性があります。

■IRについてのお問い合わせ先

株式会社ブラス IR室

TEL：052-446-5338

E-mail：ir@brass.ne.jp

URL：<https://www.brass.ne.jp/inquiry/form/?inquiry=ir>